



能登教区通信

このたび、標記通信2019年5月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

教区教化事業のご案内

◆教区同朋大会◆ 総合教化本部

- ・ 日 時 2019年6月2日(日) 午前10時～午後3時頃迄
- ・ 会 場 能登教務所(済美精舎)
- ・ テーマ つながりの再生—つながる喜び—
- ・ 講 師 金森 俊朗 氏(旧中島町出身、いしかわ県民教育文化センター理事長、上越教育大学非常勤講師)
- ・ 参加費 1,000円(弁当付・要事前申込)

なお、参加券は組長事務所にありますので、5月17日(金)までに事前に参加費と引き換えにお受け取りください。

ぜひとも有縁の皆様に
広く参加をお呼びかけ
ください。

お寺の寺報や通信の掲示企画!!

今回の同朋大会では、寺院での活動紹介の一環として、御寺院で発行されている「寺報」や「〇〇寺通信」等を掲示する計画をしています。当日、たくさんの参加者に見ていただき寺院活性の一助となればと思っています。ご協力いただける御寺院は、5月17日までに教務所へお届けください。なお、提供いただいた寺報や通信はお返しできませんことをご了承ください。

当日の駐車場について

同朋大会当日、教務所以外に臨時駐車場をご用意しています。詳しくは先月の全寺院発送に地図を同封しておりますので、ご覧ください。

◆靖国問題研修会◆ 時代社会部門

- ・ 日 時 2019年5月14日(火) 午後1時30分～午後4時30分
- ・ 講 師 武田 未来雄 氏(真宗大谷派教学研究所所員)
- ・ テーマ 大谷派がなぜ靖国を問題とするのか
- ・ 備 考 どなたでもご参加いただけます。

◆宗教法人事務講習会◆ 能登教区過疎問題対策委員会

- ・ 開催期日・時間並びに会場
 奥能登地区 2019年5月15日(水) のとふれあい文化センター(鳳珠郡穴水町)
 口能登地区 2019年6月 6日(木) 第3山方組光濟寺(志賀町代田)
- いづれの期日も午後1時から受付、午後1時30分から午後4時まで講習の予定です。どの地区に参加されても結構です。(参加費無料)
- ・ 対 象 住職、代務者、坊守、寺族、門徒(責任役員・総代)

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・日 時 2019年5月18日(土) 午後2時～午後4時
- ・講 師 松扉 覚 氏(金沢教区本泉寺)
- ・講 題 響きあういのち
- ・参加費 500円

◆真宗に学ぶつどい(第2回)◆ 同朋会推進部門

- ・日 時 2019年5月21日(火) 午後7時～午後8時半まで
- ・会 場 穴水組 法性寺(穴水町川島)
- ・講 師 相馬 豊 氏(金沢教区道因寺、本山修練道場長)
- ・テーマ いま、どんなつながりを生きているの？
- ・参加費 500円
- ・備 考 全2回の出席で、教師陞補第1種認定となります。

◆大無量寿経講義◆ 研修部門

- ・日 時 2019年5月23日(木)午後1時30分～24日(金)午後2時 ※日程が変更になりました
- ・講 師 本多 弘之 氏(親鸞仏教センター所長)
- ・持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者のみ)、筆記用具等
- ・参加費 1,000円
- ・備 考 教師陞補第2種認定の講座です。また、初日の日程終了後、懇親会を予定しております。

教化事業・その他行事のご報告

◆第17期連続教学講座(第3回)◆ 総合教化本部

去る4月2日(火)～3日(水)の2日間、金沢教区の藤場俊基先生を講師にお招きし『浄土論註』に学ぶ研修会が行われました。

受講者は15名。初日の午後からは今回の発表班が事前学習した『浄土論註巻下』の「観察体相」の書き下しと現代語訳が発表されました。その中で、仏土不可思議や観察についての問題点を主に話し合われました。

2日目の藤場先生の講義では、これまで学習した五念門までの確認から、観察体相の説明をされました。仏法力不可思議の説明で、私達の自身が求めるものは努力信心までもが煩惱貪欲に根ざしたものであるが、予期していなかったものが如来法蔵菩薩から私達に促されている。念仏者が生まれる。だから不可思議なのだというお話をされました。座談にて20代～30代の方ももっと参加されたら良いのに、という意見もありました。

〈第10組教忍寺 山形 宗立〉

◆歎異抄講座◆ 研修部門

4年間に亘り、年に2回開催された「歎異抄講座」。講師は山田恵文先生。

実は、私は別の研修会参加の折に、この講座を知ったのです。「わかりやすく、やさしく語って下さる先生ですよ。」との紹介に、即2回目から続けて受講しましたが、初回の講義内容からのおさらいだったので、終始無理なく違和感なく集中できました。歎異抄独特の難しい文章や真宗の基本用語についても、一語一句丁寧に押さえながら伝わるようにとの心遣いまでも感じ取れました。また、先生の読み説いていられる中でうかがえる受け止め方であったり、これまで気づきもしなかった広い視点であったりのお陰で、私にとって歎異抄がより身近で親しみ深いものとなってくれたのは確かです。講座が終了しても歎異抄の本についつい手が伸びてしまいます。有難うございました。

〈第12組 徳照寺 亀居 津〉

◆花まつり～小さなお手てを合わせましょう～◆ 青少幼年部門

3月24日(日)能登教務所(済美精舎)にて、「初参式・花まつり～小さなお手てを合わせましょう～」が開催された。初参式には17名の申し込みがあり、またに引き続き午後から開催される「子どものつどい」に参加する子ども達と一般の方々を含め、約50名の参加があった。

初参式・花まつりは本堂内での記念写真撮影から始まり小学生による供灯・供華・焼香を行い、ちかいの辞を唱和し勤行をした。そのあと実行委員によるお釈迦様誕生のパネルシアターを鑑賞し法話を聞き灌仏を行った。



今年も晴天に恵まれ気持ちよく教務所前の道を白象を引いて行進した。続いて本堂内に戻り、七尾マジック同好会によるマジックショーを観賞して、実行委員の手作り縁日コーナーで時間の許す限り楽しんでいた。

私にとって2回目の実行委員であり、前回よりも周りに気を配る事ができ、笑顔であふれた平成最後の花まつりだったと思う。来年に向けて実行委員の皆さんで協力し、より笑顔のあふれる花まつりにしていきたい。
〈第7組 長楽寺 上野 慶之 記〉

◆春の子どものつどい◆ 青少幼年部門

去る3月24日(日)～25日(月)に、能登教務所を会場に、『みんなちがっているんだけど あなたもわたしもそのままいられる場所がある』をテーマに、講師は野間成之先生をお招きし、春の子どものつどいが開催されました。

講師は、県内の小学校、特別支援学校等で長年にわたり教員として勤められた後、国内外で「紙芝居は面白い、楽しい」を実感してもらいたく、各地で活動をされています。

1日目は、本堂にてレクリエーション。フルーツバスケットや班ごとに協力しながら問題を解き、探検をする宝探し等を行いました。夕食後、講師による「のまりん紙芝居劇場」がスタート。「紙芝居は日本だけのもの」「子どもは甘えるのが仕事」と語りかけ、皆で協力し参加しながら観る『まんまるまんまたんたかたん』『わにがめんどりを食べないわけ』、東本願寺出版発行の『しんらんさまとやまぶしべんねん』等が演じられた後、各班で講師と感想を話し合いました。講師の元には子どもが集まり、紙芝居の道具はどうなっているのか、また自分の名札にサインをもらう様子が見られました。



2日目は、講師の指導の下、班ごとに紙芝居の実演の練習をしました。その集中力に講師も感心されていました。高学年の参加者も、講師の紙芝居を読む時の動作や表情に驚き、新たな発見があったようです。その後、大谷済美センター内「ほうぷ子どもの家」に伺い、発表会を開催しました。皆さんから拍手を頂き嬉しそうにしていました。講師や子どもたちの楽しそうな姿を見て、また勤行や寝食を共にし、そこから学び、考えることが多くある2日間でした。

なお、時代社会部門の方々より食事などのご協力を頂きました。 〈青少幼年部門 輝川雅子 記〉

◆宗教法人事務講習会◆ 過疎問題対策委員会

昨年度末に長らく勤務しておりました職場を退職し、この4月に能登の自坊に帰ってまいりました。自坊を離れていた頃は時々法務のために帰省していただけであり、法人の管理等はすべて住職である父親に任せており、その内容はほとんど把握していない状況でした。そのため来月(5月)に住職を継承するにあたり、法人事務の内容をほとんど知らない私にとり大変良い機会になるのではないかと思います。冒頭、挨拶にたたれた委員長の松山さんの話の中で、「今回同じものを3回実施致します。同じ内容

冒頭、挨拶にたたれた委員長の松山さんの話の中で、「今回同じものを3回実施致します。同じ内容

で実施しますが、何度来て頂いても構わない」という趣旨のお話がされました。事務的な話を何度も聞くということの必要性を私自身理解できませんでしたが、講習を終えてみると、委員長の言われたことの意味を理解できるようになりました。単なる事務的な内容であれば一度、頭に入ってしまうば何度も聞く必要はないのかと思いますが、今回の講習は能登教区の置かれている現状についても認識し、考える講習でありました。その意味では何人もの寺院関係者が集まり、このような問題を考える機会が多いほど、今後さらに厳しくなる寺院運営に、適切に対応していけるのではないかと思います。

今回は単なる法令や規則に関わるだけでなく、今後考えていくべき多くの課題を知ることができ、大変良い機会となりました。ありがとうございました。
 〈第3浜方組明蓮寺 谷野 了 記〉

◆教区部落差別問題研修会◆ 教区同朋社会推進協議会

3月19日(火)、「同朋社会の顕現に沿う儀式」の可能性をテーマに、二俣和聖氏(第11組聖安寺前住職)に講義をいただき、研修会を行いました。

講義では、講師が「儀式に関わってきたこれまでの歩みの中で考えてきたこと」・「本願寺が門跡寺院となることで、権威的・差別的になってきた教団の歴史」・「寺格によって許されるものが違っていったこと(具体的な過去の資料を通して)」などをお話いただきました。

そしてそこから、寺格は廃止されたが、我々は門跡寺院教団というスタンスの儀式を守り続けているのではないのか?、身分や格式によって区切られている内陣が、阿弥陀の浄土を表していると言えるのか?、我々の行う儀式は、私にとって聞法のご縁となっているのか? 同朋社会の顕現を願う方向に向いているのか?と問うていただきました。

参加された方からは「親鸞聖人の教えと儀式作法の矛盾が気になっていた」、「内陣出仕で差別を感じてきたが、「内陣は元々門跡の場所」と聞き、女性が内陣へ上がることを快く思わないわけだと納得した」、「自分も参加する儀式が、なぜそのような“形”になっているのか、何が“形”となって表れたものなのか検証することを怠ってきた」、「〇〇だから〇〇しないといけない、そういうことを鵜呑みにするのではなく、自分で考えることが大切だと思った」、「“共に”ということを大切にすることをおろそかにしなければ、儀式化されたカタチはどうあれ、今ある儀式のカタチもありなのではないか」など様々な感想がありました。

また、今回は少ないながらも御門徒さんが参加されていましたが、そのことが嬉しく力になったとの感想もありました。僧侶だけでは当たり前で終わってしまうことも、素朴な問いや新たな視点をいただくことで開かれていくということもあるのではないのでしょうか。今後もっと御門徒さんが参加されることを願いますし、そのような研修会にしていかなければならないと思います。〈協議会常任委員 岩垣 秀一 記〉

本山・教区事務についてのご連絡

◇本山経常費完納寺院◇(2019.3.1~3.31迄)

2018年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第2組	子浦専勝寺	明照寺	第8組	長明寺
第3山方組	光濟寺	覺龍寺	穴水組	弘誓寺
第4組	正念寺		第12組	三忍寺 西光寺
第7組	長徳寺		第13組	改観寺

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。

適宜ご利用ください。

能登教区教化テーマ
 能登教区教化スローガン
 能登教区ホームページアドレス URL

ほとけさまに遇いにきたいのち、今ともに生きよう
 一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を
<http://ohigashi-noto.jp/>